

「ヤママユ連・手づくりカフェ」・報告

3月1日(土) 10:00~12:00 於: 西緑地・中央広場

～ コブナグサの染色 ～



いつもは集会所で行うやままゆ連を、天気の良い今日は緑地で行いました。早春の、抜けるような青空の下で、コブナグサでの染色とカラムシの繊維でのひも作りです。

コブナグサはイネ科の植物で、ごくふつうにみられる雑草です。緑地にもいっぱい生えていて、花壇を作る時に刈り取られたのが山となっていました。でも八丈島では、黄八丈の黄色の色を出すための貴重な染色材料です。捨ててはもったいない!というわけで、今回の染色に及んだのです。多くの参加者が、スカーフやらTシャツなど、思い思いのものを、ことごとと煮染めました。

煮ている間はカラムシでひも作り。カラムシも緑地産です。縄をなうのと同じ要領

ですが、細かいカラムシの繊維で作ると、繊細でとてもきれいです。ペンダントにしたらすてきそう。

「私が子どものころは、カラムシなんて言わなかった。ポンポン草と呼んでいたのよ」・・・手の上にカラムシの葉をのせて、上からたたくと、ポン!と大きな音がするからだそうです。「戦争中には、これを供出したの」とも。物資が不足して、カラムシから布を作ったのでしょうか。戦時中の非常時とはいえ、カラムシは思っていたよりもずっと最近まで使われていたのですね。

さて、コブナグサ染色もできあがってきました。最後に、灰汁を振り掛けて、黄色い発色を助けます。黄八丈の黄色を出すには、実はとても手間がかかります。今回はそれほどの黄色にはならなかったのですが、それでも黄色っぽい色が出て、満足、満足。

今日のカフェメニュー：抹茶、羊羹、ゆずのチョコレート

